

【表紙】

【提出書類】 臨時報告書

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成27年 2月24日

【会社名】 旭化成株式会社

【英訳名】 ASAHI KASEI CORPORATION

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 浅野 敏雄

【本店の所在の場所】 東京都千代田区神田神保町一丁目105番地

【電話番号】 03(3296)3000(代表)

【事務連絡者氏名】 経営管理部長 有馬 大地

【最寄りの連絡場所】 東京都千代田区神田神保町一丁目105番地

【電話番号】 03(3296)3024(直通)

【事務連絡者氏名】 経営管理部長 有馬 大地

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町 2 番 1 号)

1【提出理由】

当社は、平成27年2月20日開催の取締役会において、米国のバッテリーセパレータ及び医療・工業用膜関連の高分子ポリマー膜メーカーであるPolypore International, Inc. (本社：米国ノースカロライナ州、CEO：Robert B. Toth、米国ニューヨーク証券取引所(以下「NYSE」)上場：PPO、以下「Polypore(ポリポア)社」と、当社の連結子会社であるESM Holdings Corporationによる現金を対価とする合併(以下「本合併」)によりPolypore社を買収(以下「本買収」)すること、並びに本買収に関連し、Polypore社が同社の医療・工業用膜事業を、本合併の完了前に米国の3M Company(本社：米国ミネソタ州、CEO：Inge G. Thulin、米国NYSE上場：MMM、以下「3M社」)に対して譲渡(以下「本譲渡」)することについてPolypore社及び3M社と合意することを決議しましたので、金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第16号の2の規定に基づき、臨時報告書を提出するものです。

2【報告内容】

(1) 取得対象子会社に関する子会社取得を決定した機関

平成27年2月20日開催の当社取締役会において、子会社取得を決議しています。

(2) 取得対象子会社に関する子会社取得を行う連結子会社の名称、住所及び代表者の氏名

名称 ESM Holdings Corporation
 住所 東京都千代田区神田神保町一丁目105番地
 代表者の氏名 福田 明

本買収は、本買収のため設立された当社の買収目的子会社ESM Holdings CorporationとPolypore社を合併させる方法により行います。

(3) 取得対象子会社の商号、本店の所在地、代表者の氏名、資本金の額、純資産の額、総資産の額及び事業の内容

商号 Polypore International, Inc.
 本店の所在地 11430 North Community House Road Suite 350, Charlotte, North Carolina, USA
 代表者の氏名 CEO, Robert B. Toth
 資本金の額(連結) 570百万米ドル(平成25年12月期)
 純資産の額(連結) 620百万米ドル(平成25年12月期)
 総資産の額(連結) 1,550百万米ドル(平成25年12月期)
 事業の内容 高分子ポリマー膜の開発、製造及び販売

(4) 取得対象子会社の最近3年間に終了した各事業年度の売上高、営業利益、経常利益及び純利益

(単位：百万米ドル)

	平成23年12月期	平成24年12月期	平成25年12月期
売上高(連結)	686	649	636
営業利益(連結)	170	124	88
経常利益(連結)	137	85	48
純利益(連結)	105	71	82

(注) 米国証券取引委員会に提出されている年次決算書(Form 10-K)ベース。

(5) 取得対象子会社の当社及び連結子会社との間の資本関係、人的関係及び取引関係

資本関係 当社及び連結子会社と取得対象子会社の間には、記載すべき資本関係はありません。
 人的関係 当社及び連結子会社と取得対象子会社の間には、記載すべき人的関係はありません。
 取引関係 当社及び連結子会社と取得対象子会社の間には、記載すべき取引関係はありません。

(6) 取得対象子会社に関する子会社取得の目的

本買収の背景

当社は創業以来、時代の変化や、社会的なニーズに応え、ポートフォリオを転換させることで持続的な成長を遂げてきました。2011年度よりスタートさせた中期経営計画「For Tomorrow 2015」では、グローバルにおいて競争力のある事業を積極的に展開することに加えて、「健康で快適な生活」「環境との共生」の視点で事業を推進し、「環境・エネルギー」「住・暮らし」「ヘルスケア」の3つの分野において、既存事業のさらなる拡大と新しい社会価値の創出に取り組んでいます。

本買収に至った経緯

当社の「環境・エネルギー」分野の一翼を担うエレクトロニクス事業領域は、電子部品系事業と電子材料系事業で「世界の人びとの“いのち”と“暮らし”に貢献する」高度な技術による製品を提供しています。とりわけ電子材料系事業では、リチウムイオン二次電池用セパレータ「ハイポア™」を戦略的製品と位置付け、バッテリーセパレータ事業の拡大を図っています。

「ハイポア™」は、微小な孔を多数持つ高性能なポリオレフィン膜で、スマートフォンやタブレット端末、ノートパソコンなどのリチウムイオン二次電池に使用されています。今後は成長が期待されるハイブリッド車・プラグインハイブリッド車・電気自動車といった環境対応車用途や、電力エネルギーの効率的活用で需要の拡大が見込まれる電力貯蔵及び蓄電システム用途での事業拡大を目指しています。

そのため、製品力をさらに高めるべく、顧客ニーズに適合した高機能膜の開発強化や海外加工体制の構築等に積極的に取り組んでいます。

Polypore社は高分子ポリマー膜における技術力を持ち、リチウムイオン二次電池及び鉛蓄電池のバッテリーセパレータ事業においてグローバルな供給体制と高度な製品開発力を有する企業です。今回の買収対象であるPolypore社のバッテリーセパレータ事業は、今後成長が期待されるリチウムイオン二次電池用のセパレータ「Celgard™(セルガード)」に加えて、自動車や産業向け用途等で広く普及している鉛蓄電池用のセパレータ「Daramic™(ダラミック)」の両ブランドを展開しており、独自の製品群を有するとともにグローバルな供給体制を構築しています。当社のエレクトロニクス事業領域における電子材料系事業は、Polypore社のバッテリーセパレータ事業と協業を図ることで、「環境・エネルギー」分野での中長期的な技術力の向上及び事業の拡大が可能となるため、本買収の合意に至りました。

当社と3M社で買収を提案するに至った経緯

上述の通り、本買収に関連して、Polypore社は同社の医療・工業用膜事業を本合併の完了前に米国の3M社に対して譲渡することについて当社及び3M社と合意し、Polypore社と3M社の間で本譲渡に関する契約を締結しています。Polypore社は医療・工業用膜事業で使用される分離膜を主に「Membrana™」ブランドの下で製造・販売していますが、当社では、中長期的な成長戦略との適合性等に鑑み、本買収の対象から除外することとし、3M社は医療・工業用膜事業分野における拡大を目指していることから、本譲渡の合意に至りました。

本買収の意義

本買収により、当社は以下のことが実現できると考えています。

- ・ 当社は、これまでバッテリーセパレータ事業において、「ハイポア™」の技術開発・製品開発力の強化を図りながら、市場での高い評価を築き供給責任を果たしてきました。他方で、車載用途を中心に強みをもつPolypore社との共同研究開発及び相互技術提供等を通じて、今後のさらなる成長が期待できるバッテリーセパレータ事業で、多様な分野で用いられる、より革新的な製品開発を実現することが可能と考えています。
- ・ Polypore社の有するグローバルな製品供給体制及び販売網等の活用によって、「ハイポア™」のグローバル展開の一層の加速が可能と考えています。
- ・ Polypore社のバッテリーセパレータ事業を買収し、「Daramic™」ブランドの製品を供給することで、中長期にわたって安定的な収益貢献が期待できる鉛蓄電池用セパレータ市場への参入を果たします。また、「Celgard™」ブランドの製品供給により、車載用途を含め、今後成長が期待されるリチウムイオン二次電池用セパレータ事業で、より幅広い製品・技術の提供が可能になると考えています。

なお、当社は本買収以降も、バッテリーセパレータ事業における成長戦略の実現及び加速のために必要な資源投入を図り、同事業での革新的な技術開発に取り組むことで、持続的な成長を目指してまいります。

(7) 取得対象子会社に関する子会社取得の対価の額

Polypore社の普通株式：約28億米ドル

(注) 本取得価額にPolypore社の純有利子負債を加え3M社への譲渡金額を控除して算出した、当社のPolypore社のバッテリーセパレータ事業買収額は、約22億米ドルになります。

(8) 本買収及び本譲渡のスキーム並びに対価と今後の流れ

本買収は、本買収のために設立された当社の米国における買収目的子会社であるESM Holdings CorporationとPolypore社を合併させる方法により行います。本合併は、Polypore社の株主総会において承認が得られること及びPolypore社と3M社間の本譲渡完了等を条件に成立し、合併後の存続会社はPolypore社となります。この手続きを通じて当社は、現金を対価としてPolypore社のすべての既存株主から同社株式を取得し、合併後のPolypore社は米国NYSEの上場を廃止するとともに、当社の完全子会社となります。

本買収価格は、1株当り60.50ドル、Polypore社の2015年2月20日までの過去1ヶ月の平均株価に対し28.4%のプレミアムを加えた金額になります。

なお、本譲渡は、本譲渡のために設立された3M社の買収目的子会社とPolypore社間で締結された資産譲渡契約に従って、医療・工業用膜事業を譲渡する方法により行います。この手続きを通じて3M社は、Polypore社に現金対価を支払うことにより、Polypore社の医療・工業用膜事業を取得します。

本譲渡において3M社がPolypore社に支払う譲渡金額は約10億米ドルとなります。

したがって、当社は、本譲渡後にバッテリーセパレータ事業を行う会社としてのPolypore社を買収することとなる予定であり、その対価は約22億米ドルとなります。

買収完了に至るまでの必要プロセス

- ・ 各国競争法当局への届出
- ・ Polypore社株主総会
- ・ 各国競争法当局及び監督当局からの認可取得
- ・ クロージング

以 上